

ふれあい

令和6年10月31日

第81号

発行部数 3,500部

発行責任者 水澤 紀子

〒166-0015

杉並区成田東5-15-30

TEL 03-5347-0531

芝生ジャンボリー ソーラーパネルでポップコーン大行列！



目次

2・3面

阿佐谷盆おどり
芝生ジャンボリー
ラジオ体操
委員研修

4面

子どもフェスティバル
阿佐谷青少年育成委員会名簿
新委員紹介

令和6年度 杉並区阿佐谷青少年育成委員会名簿

役名	職名(出身母体)	氏名	役名	職名(出身母体)	氏名
会長	地域協力者	水澤 紀子	委員	地域協力者	柴田 真光
副会長	地域協力者	石田 阿以子		阿佐ヶ谷中 PTA 校外	井口 佳代
	民生児童委員	近藤 澄		杉森中 PTA 副会長	坂本 裕子
会計	青少年委員・地域協力者	諸橋 記子		杉並第七小 PTA	グデラ 亜沙子
	町会	玉田 憲江		杉並第七小 PTA	金子 香織
庶務	地域協力者	中島 愛	学 校 係	阿佐ヶ谷中 校長	齋藤 健一
	地域協力者	坪田 美奈子		阿佐ヶ谷中 副校長	中田 照子
監事	町会	池田 賢司		阿佐ヶ谷中 生活指導主任	小林 陽介
	地域協力者	渡辺 光貴		杉森中 校長	佐々木 啓之
常 任 委 員	町会	佐藤 文夫		杉森中 副校長	濱田 真美
	保護司会	島田 昭仁		杉森中 生活指導主任	大内 規敬
	町会	國保 厚子		杉並第一小 校長	山口 祐美子
	地域協力者	川瀬 恭代		杉並第一小 副校長	小島 昭博
	地域協力者	河岸 宏恵		杉並第一小 副校長	杉田 英昭
	町会	本名 隆		杉並第一小 生活指導主任	稲葉 八重子
	町会	広田 君江		杉並第七小 校長	畝尾 宏明
	民生児童委員	比嘉 芳子		杉並第七小 副校長	青島 信也
委 員	保護司会	大島 公子		杉並第七小 生活指導主任	今泉 真里恵
	商店会	松本 常良		馬橋小 校長	小澤 伸生
	地域協力者	内岩 恒忠		馬橋小 副校長	志賀 健人
	地域協力者	和田 奈々子		馬橋小 生活指導主任	松葉 教晃
	地域協力者	曾田 佐希	児童館	阿佐谷児童館 館長	中西 弘記
	地域協力者	石井 祐子			
	地域協力者	武市 佳寿子			
	地域協力者	中村 ひろみ		阿佐谷地域区民センター (地域活動係)	塚本 雄二
	地域協力者	星野 さち子			永井 秀子

協力・協働事業

阿佐谷地域区民センター子どもフェスティバル

9月29日(日)

2024年9月29日に阿佐谷地域区民センターにおいて、子どもフェスティバルが開催されました。
委員延べ18名で、一階にブースを設置し、剣、お花のブレスレット、ブドウ、ティディベア、新作のトンボなど沢山製作し、来場した多くの子どもたちに配りました。
子ども達は通路の邪魔にならないように、少し離れた場所でちゃんと待ったあと、山盛りのバルーンの前に立ち、あれがいい、これがいいと目移り。
ようやく決めて、手につけてもらおうと、笑顔で「ありがとう。」とお礼を伝えてくれ、こっちまで笑顔になりました。



新委員紹介



本年4月に阿佐谷地域担当課長に着任しました上野と申します。青少年育成委員会の皆さまには、日ごろから地域の子どもたちの健全な育成支援と地域コミュニティの活性化にご尽力賜り、心より感謝申し上げます。

杉並区民生活部
阿佐谷地域担当課長 上野 和貴

阿佐谷青少年育成委員会が開催する様々な行事は、子どもたちにとって貴重な経験となり、友情やチームワークの大切さを学ぶ場となっております。特に毎年開催されている芝生ジャンボリーや阿佐谷盆踊りは、地域全体が一体となって楽しむことができる素晴らしいイベントです。また、体験講座や釣り堀体験など日本の様々な文化に触れる機会を提供し、子どもたちの視野を広げています。さらに、防犯パトロールは子どもたちが安心して過ごせる環境を整えるために欠かせない取り組みです。これらの活動を通じて、阿佐谷地域全体が協力し合い、子どもたちの健全な成長を支えているのだと思います。阿佐谷青少年育成委員会の活動は、地域の絆を深める重要な役割を果たしており、私も微力ながら皆様の活動に関われることを誇りに思っています。着任して半年、今後も皆さまとともに子どもたちの未来を支えるために、地域が一丸となって歩んでいくのだと実感しています。どうぞよろしく願っています。



阿佐谷児童館 館長 中西 弘記

令和6年4月に、阿佐谷児童館の館長に着任いたしました中西弘記と申します。阿佐谷児童館では、阿佐谷青少年育成委員会の皆様をはじめ、地域の町会、学校関係、民生委員・児童委員等の皆様のご協力をいただき、子どもたちの健やかな成長と地域の子育て家庭の支援に取り組んでいます。また、今年度から阿佐谷児童館は、従来の杉七小地域子育てネットワーク事業に加え、旧阿佐谷南児童館の機能を承継し、杉七小地域子育てネットワーク事業の事務局も担当しています。地域の皆様には「あさがやじどうかん」ことまつり、「わいわいランド」の開催や杉七小放課後等居場所事業（わいわい杉七）のプログラム運営等でも温かいご支援をいただき、心から感謝しております。今後とも、一人ひとりの子どもを大切に、地域の子育て家庭の支援に取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をどうぞよろしく願っています。

「第52回阿佐谷盆おどり」

9月15日(日)



第19回芝生ジャンボリー

5月11日(土)



『ボラスタ』 育成会最大の名物には、裏の立役者がいます。ボランティアスタッフの募集に応募してくれた小・中学生の子も達です。7月初旬募集をかけた皆さんの応募を頂きました。やる気のある子ども達は、私達同様スタツとして活動してもらいます。当日の早朝は、7時半から提灯の飾りつけをし、本番の来場受付、翌日の後片付けなど、朝早くから手伝ってくれる勇氣ある『ボラスタ』と阿佐ケ谷中・杉森中美術部には、開催に向けて周知ポスターを描いてもらいました。会場校「杉一小」の門扉の周りに貼りだし、インパクトある絵が通りすがりの人々の目に留まれば幸いです。協力頂いた小中学生は杉並区善行表彰の推薦をさせていただきます。ご協力ありがとうございます。

『手作り満載の盆おどり』 杉一、杉七、馬橋小の2年生には、提灯の絵を描いてもらいました。櫓周り、正面入口、来場受付に飾りました。灯をとんとんと9月の夜空に浮かぶ月と提灯の絵は輝きとも綺麗でした。幼少のクレヨン絵は、不思議な情緒があります。育成会の伝統の提灯を大切にしながら小学生の絵に明かりを灯したいと思います。

『初めて物語』 会場校のおやじの会「杉一会」によるラムネ・ジュース・ソース、ミルクせんべい・千本引きが初出店しました。全てが完売となり大盛況、東京土建の工作「ガリガリトンボ」も初出店トンカチ叩いてたのしそうでした。初の4店舗が混雑もなく上手く回り、盆踊りと縁日の味わいも楽しめました。子どもだけではなく大人も満足気な顔が見られて良かったです。幸せそうでした。

さて、今回の来場者は953人、子ども約400人、用意した全ての光るうちわは、子どもたちに行き渡ったようです。もらえなくて泣く子がいなく安心しました。祝50周年から早2年、疫病退散と同時に祭りが元に戻りました。しかし働き方改革や子どもを取り巻く環境は、だいぶ変わりました。親御さんの関わりにも変化があるように思います。令和6年度は、人との繋がりを試すかのように、人に助けられる事がたくさんありました。育成会のボランティア活動には、人の手が必要です。この度も応援して下さい。関係者の皆さまには、感謝を申し上げ御礼とさせていただきます。これからもご協力とご支援をお願い申し上げます。『阿佐谷盆おどり』で御逢いできます事を祈願し、楽しみに致したいと思います。有難うございました。

～すべての子どもたちの「居場所」となる地域に～



8月24日(土)阿佐谷地域区民センターにて重江良樹監督の「ゆめパのじかん」を上映いたしました。川崎市子ども夢パークは南武線津田山駅近くにあり、1万平方メートルの広大な敷地をもつプレーパークで、「川崎市子どもの権利に関する条例」をもとに2003年に作られました。ケガと弁当は自分持ち、やりたいことを大人が邪魔をしない子どもの遊び場です。その一角に学校に通っていない子どもたちが集う「フリースペースえん」があります。学校に行くか行かないかはもとより、誰かに決められた時間を過ごすのではなく、何かをするかしないかも自分が決めていい場所。「ゆめパのじかん」は、そこで過ごす子どもたちの日常、悩み、成長を、何か月も子どもたちと一緒に過ごすことで目線を合わせて記録されたドキュメンタリー映画です。今回、73名の地域の方に観ていただいて、多くの素晴らしい感想を寄せられました。特に、プレーパークの存在を知らない、また不登校の子もが身近にいないという方からの「観てよかった」「子どもが伸び伸びと過ごせる自由な場所をこの阿佐谷に！」などのお言葉をいただき、委員研修活動の励みにもなりました。



暑いから晴天に恵まれた5月11日(土)、杉並第七小学校の芝生の校庭を会場に、芝生ジャンボリーを開催しました。開催時刻は午後1時からなので、児童は一度下校してからの来場です。その下校時に、新入生である1年生にはバールの花輪をプレゼント。阿佐ケ谷中学校からのボランティア数名で一人一人の腕に嵌めてあげ、「芝生ジャンボリーに来てね！」と声を掛けました。今回、阿佐ケ谷中学校から参加してくれたボランティア29名と、フィナーレで演奏してくれた吹奏楽部員19名、グループに分かれ、レクリエーションの進行を手伝ってくれました。開催前の12時から、おやじの会恒例の焼きそば販売があり、300食がアツという間の完売でした。

会長挨拶後のオープニングは、去年に引き続き「ジャンボリー・ミッキー」を皆でダンス。前列の中学生ボランティアをお手本に楽しく踊ることができました。その後はレクリエーションタイム。今回は、花いちもんめ、ゴム跳び、大縄跳び、フラフープ輪投げ、最後にパン食い競争の5種目。加えて、太陽光発電でのポップコーン調理の実演もあり、どれも大いに盛り上がりました。全ての種目に参加してくれた子ども達にはバールの剣をプレゼントし、いよいよフィナーレは阿佐ケ谷中学校吹奏楽部の演奏を鑑賞。「前前世」などアンコールを含め3曲を披露してくれ、皆は拍手喝采。大盛況の内にイベントを終了することができました。

ラジオ体操

7月24日(水)～7月30日(火)



杉一小会場

オハヨー きらきらした目がオハヨーと返ってきます。朝の光の中 今年の夏休みもたくさんの人達が校庭に広がりました。一週間晴天に恵まれ、笑顔で集まった子ども達は元気がいっぱい。なんと！最終日には大勢の子が、自分から進んで最前列に並び、一生懸命に体操をしました。それぞれの心に友情が育かれ、楽しい夏の思い出として残ったことでしょう。

子ども達の安全、見守りに協力していただきましたPTA、地域の方々にも心より感謝申し上げます。

杉七小会場

7月24日から30日まで杉七小学校校庭にてラジオ体操が行われ、たくさんの方にお越しいただきました。青空の下、地域の皆さんと挨拶を交わし音楽が始まれば子どもから大人までみんなが同じ動きをして体操する、という一体感を感じながら、1日のスタートを心地良く切る事ができました。眠そうにしながらハンコをもらいに来ると、順番を覚えようという周りを見ながら一生懸命体操している子ども達の姿が、とても微笑ましかったです。

●杉七小会場 参加人数1090人、皆勤賞58名



杉七小会場